

＜ 8月16日～31日の国内外外国為替市場動向 ＞

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/08/16 (火)	東京で円高進行。発表された経済指標は良好であり、また株価は堅調に推移したことが好感された。欧米は一転ドルが急反発。ドル/円よりもユーロ/ドルで大きく値を下げていたドルはそちら中心の巻き戻し。	・宮城県南部で震度6弱の地震 ・6月景気先行指数63.6 ・7月の米CPI0.5%、同住宅着工件数204.2万件、同鉱工業生産0.1%、同設備稼働率79.7		109.39	135.07	寄付
				109.05	134.56	安値
				109.67	135.47	高値
				109.53	135.43	終値
05/08/17 (水)	東京は軟調が予想された株価が強含みに推移したため円買いでスタートするも続かず。欧米はドル小じっかり。独債の利払いに絡むオーダーの噂などもあり対ユーロを中心にドル強含み推移。	・8月のBOE議事録公開、5:4で利下げを決定明らかに ・7月の英失業率2.8% ・7月の米PPI1.0%	・スイス中銀総裁「05年と06年の経済成長は予想を上回るだろう」	109.65	135.51	寄付
				109.39	134.65	安値
				110.09	135.52	高値
				109.92	134.87	終値
05/08/18 (木)	東京は仲値需要が強かったこともあり円軟調裡。その後は円はクロス中心に売られる展開に。欧米はドル独歩高。米本国投資法絡みとされるオーダーなども散見され、ドル買いの流れ止まず。	・7月の米景気先行指数0.1%、8月のFF連銀景況指数17.5		109.95	134.88	寄付
				109.93	134.41	安値
				110.67	135.45	高値
				110.55	134.59	終値
05/08/19 (金)	東京は概ね小動きだったがアーロンソンでユーロ売り強まり、ドル/円も終盤はそれに連れ高傾向。欧米はドル続伸するも、その後軟調裡。テロ懸念や原油高などが嫌気されドルも積極的には買い難い。	・ヨルダン港係留の米国籍船が爆発(テロ疑惑も) ・NYタイムズ「GM、即時の破綻懸念はないものの2～3年後は不透明」	・リッチモンド連銀総裁「2ヶ月前に比べてインフレ見通しがやや悪化してきた」	110.42	134.55	寄付
				110.31	134.17	安値
				110.83	134.72	高値
				110.45	134.23	終値
05/08/22 (月)	東京は海外勢の積極買いなどにより、株価が4年ぶり高値をつけたことを受けて円全面高。欧米はユーロの買戻し優勢。ユーロ/円に値頃感から買いが入ったことをきっかけにユーロは対ドルでも堅調裡。			110.50	134.42	寄付
				109.41	133.53	安値
				110.50	134.42	高値
				109.78	134.26	終値
05/08/23 (火)	東京は株高にもかかわらず円高は限定的。むしろユーロの買戻しが目立つ。欧米は揉み合い。独経済指標は予想外の強い数字となったが反応なし。手掛かり材料に欠けた。	・6月の第三次産業活動指数1.0% ・8月の独ZEW期待指数50.0 ・7月の米中古住宅販売716万戸		109.70	134.17	寄付
				109.59	133.85	安値
				110.18	134.82	高値
				109.87	134.43	終値
05/08/24 (水)	東京は円が独歩安。円高を牽引してきた外国人の日本株買いが途切れたことが材料視された。欧米はユーロの独歩高。円が買い難いなか発表された米経済指標の悪化などからドルも買い難く消去法で。	・外資系証券の株式売買が22営業日ぶりに売り越し ・ムーディーズがフォードとGMをジャンク級に格下げ ・7月の米耐久財受注▲4.9%、同新規住宅販売141.0万戸	・シカゴ連銀総裁「中立的な水準に向けた利上げ継続は適切」	110.02	134.47	寄付
				110.00	134.45	安値
				110.74	135.28	高値
				110.22	135.27	終値
05/08/25 (木)	東京は円が独歩高。元に関する発言に加え、日銀レポートのウツサもあり円買い優勢。欧米はインジ内で揉み合い。新規材料乏しくドル/円はほぼ膠着、ユーロ絡みも全体的には動意薄。	・7月の貿易黒字8736億円、4ヶ月連続で貿易黒字縮小 ・有力米調査会社「日銀は来年初めまでにゼロ金利政策を解除する」とのレポート送信のウツサ ・7月の独IFO景況指数94.6	・中国人民銀行「人民元の上昇、政府でなく市場が決める」 ・渡辺財務官「9月のAPEC財務相会合で為替議論の可能性」 ・米CL連銀総裁「原油高騰時の金利据置、限定的に成長鈍化緩和」	110.42	135.36	寄付
				109.76	134.81	安値
				110.45	135.56	高値
				110.05	135.36	終値
05/08/26 (金)	東京はテロに対する懸念から円弱含みでオープン。しかし人民元切り上げのウツサなどもあり、その後急反転。欧米はドルが反発。東京の流れからドル売りでスタートするもFRB議長発言を好感した買いが徐々に優勢。	・FT「アルカイダが東京などアジアの金融センター攻撃準備をしている」 ・米中首脳会談前に人民元を追加切り上げのウツサ(その後当局が否定) ・8月の米ミシガン大消費者信頼感指数確報値89.1	・FRB議長「政策は資産価格変動に左右される度合い強まる」「住宅ブームは沈静化へ」	110.31	135.48	寄付
				109.35	134.85	安値
				110.39	135.69	高値
				110.17	135.35	終値
05/08/29 (月)	東京は原油価格の動向をにらみつつ円が軟調裡。日航機のテロ懸念も円売りを増長させていた。欧米はロンドン休場で薄薄い。ただロングの落としからユーロが軟調で冴えない。	・巨大ハリケーン「カリナ」がメキシコ湾の石油生産施設集中地域を直撃 ・札幌行き日航機に爆破予告 ・ロンドン市場が休場	・中国人民銀行総裁「通貨改革は一度限りではない」 ・細田官房長官「今回の原油高の特徴はWTIへの巨額投機」 ・米エネルギー省「戦略石油備蓄の貸し出しを検討」	109.88	135.57	寄付
				109.88	135.11	安値
				110.71	136.12	高値
				110.62	135.34	終値
05/08/30 (火)	東京タイムにドルは続伸。ただドル高というより円安の動きで日経平均が100円以上上昇したが影響なし。欧米もドルは引き続きしっかり。終盤は原油高などに足元をすくわれたが対ユーロ中心にドル強含み。	・インドネシアがルビア防衛のため政策金利を大幅引き上げ ・7月の完全失業率4.4% ・8月の米消費者信頼感指数105.6	・米財務次官「日本経済は長期低迷のち、ようやく成長に向かっている」 ・8月9日実施FOMC議事録「多くの参加者は米インフレリスクが小幅上昇と認識」	110.63	135.21	寄付
				110.48	135.10	安値
				111.61	136.12	高値
				111.25	135.95	終値
05/08/31 (水)	東京はインジ内ながらも円が冴えない。経済指標内容も奮わず円を積極的には買い難い。欧米は一転してドル急落。米経済指	・7月の鉱工業生産指数▲1.1% ・9月の独失業者数479.6万人 ・第2四半期米GDP改定値3.3%へ下方修正、8月のシカゴPMIは49.2と2年	・インドネシア中銀総裁「ルビアは実効為替レートで94～96%も過小評価されている」 ・CEA委員長「ハリケーンによる米経済	111.45	136.16	寄付
				110.38	135.80	安値
				111.79	136.75	高値

	標が予想外の悪化となったことが嫌 気されドル売りがかさむ結果に。	ぶりの50割れ	への影響は軽微となる可能性」	110.60	136.54	終値
--	-------------------------------------	---------	----------------	--------	--------	----

*製作・著作;「FXニューズレター」 URL; <http://www.fx-newsletter.com/>